

高濃度ビタミンC点滴に関する注意事項

※腎臓が悪いと指摘を受けている方は**禁忌**となります。

※G6PD欠損症という遺伝子疾患がある場合は、**禁忌**となります。

→G6PD欠損症がある場合、高濃度(25g以上)のビタミンC 投与にて、溶血(赤血球が壊れた状態)を起こすことがあります。

→ビタミンC点滴を実施される方は、初回必ずG6PD測定・確認をさせていただきます。(初回のみ・別途料金)

※ビタミンC点滴実施時、ビタミンCとブドウ糖の構造がよく似ている為**低血糖を起こす可能性**があります。

→空腹での実施は避けていただき、お食事をしっかりと摂ったうえで来院をお願いします。

→低血糖の出現を抑えるため、点滴実施時にはお菓子や水分を摂って頂きます。

※簡易血糖測定器にて血糖測定される方、又はその値でインシュリンの量を定める方は**注意が必要**です。

→上記で説明した通り、ビタミンCとブドウ糖の構造がよく似ている為、本来の血糖値よりも高い数値が表示されます。

点滴実施～9時間後あたりまでは、値の信用性は低くなるため、注意が必要です。

※副作用として穿刺部の痛み・頭痛・吐き気などの症状が稀に起こることがあります。

→点滴速度を緩徐することで、多くは解決します。